

■特別会計決算 (前年度比較)

(単位:千円・%)

歳入	R3年度	R2年度	増減額	伸率
国民健康保険	11,076,294	10,735,046	341,248	3.2
後期高齢者医療	2,456,926	2,407,433	49,493	2.1
八丁台土地区画整理事業	170,316	228,981	△ 58,665	△ 25.6
介護保険	8,800,771	8,813,835	△ 13,064	△ 0.1
介護サービス事業	10,563	8,383	2,180	26.0
病院事業債管理	474,822	894,378	△ 419,556	△ 46.9
計	22,989,692	23,088,056	△ 98,364	△ 0.4

歳出	R3年度	R2年度	増減額	伸率
国民健康保険	10,531,822	10,390,131	141,691	1.4
後期高齢者医療	2,432,822	2,379,629	53,193	2.2
八丁台土地区画整理事業	170,316	70,685	99,631	141.0
介護保険	8,454,262	8,574,331	△ 120,069	△ 1.4
介護サービス事業	7,874	2,110	5,764	273.2
病院事業債管理	474,822	894,378	△ 419,556	△ 46.9
計	22,071,918	22,311,264	△ 239,346	△ 1.1

■企業会計決算 (前年度比較)

(単位:千円・%)

歳入	R3年度	R2年度	増減額	伸率
水道	3,276,019	3,230,448	45,571	1.4
うち収益	2,362,642	2,361,345	1,297	0.1
うち資本	913,377	869,103	44,274	5.1
下水道	2,580,199	2,599,127	△ 18,928	△ 0.7
うち収益	1,754,320	1,761,780	△ 7,460	△ 0.4
うち資本	825,879	837,347	△ 11,468	△ 1.4
農集排	1,072,886	1,094,317	△ 21,431	△ 2.0
うち収益	885,543	921,924	△ 36,381	△ 3.9
うち資本	187,343	172,393	14,950	8.7

歳出	R3年度	R2年度	増減額	伸率
水道	3,680,317	3,610,952	69,365	1.9
うち収益	2,055,711	2,040,392	15,319	0.8
うち資本	1,624,606	1,570,560	54,046	3.4
下水道	2,954,645	2,972,459	△ 17,814	△ 0.6
うち収益	1,656,748	1,674,303	△ 17,555	△ 1.0
うち資本	1,297,897	1,298,156	△ 259	0.0
農集排	1,150,842	1,188,416	△ 37,574	△ 3.2
うち収益	854,107	895,967	△ 41,860	△ 4.7
うち資本	296,735	292,449	4,286	1.5

令和3年度決算に基づく財政健全化指標などの状況

実質赤字比率 …… 黒字決算のため 該当なし

福祉、教育、まちづくりなどを行う一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。

連結実質赤字比率 …… 黒字決算のため 該当なし

すべての会計の赤字や黒字を合算して、市全体の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。

実質公債費比率 …… 7.7%

市の借入金にかかる元金および利息の支払いにかかる経費の合計額が標準財政規模*に対してどのくらいの比率になっているかをみるもので、資金繰りの危険度を示すものです。

早期健全化基準 25%
財政再生基準 35%

*標準財政規模とは……

通常収入されるであろう経常的な一般財源(税や交付金など)の規模です。本市の令和3年度標準財政規模は、264億6,827万4千円です。

将来負担比率 …… 52.5%

市の借金や将来支払わなければならない負担金などの残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

早期健全化基準 350%

資金不足比率 …… 資金不足が生じないため 該当なし

公営企業の資金不足を、料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すものです。

経営健全化基準 20%

筑西家の家計簿

決算内容を一般家庭の家計簿に例えてわかりやすく説明するため、項目も簡単な言葉に置き換えてまとめてみました。

身近な言葉にすると分かりやすいね。



収入 (年額)	
給与 (市税・地方交付税など)	250万円
親からの仕送り (国・県支出金など)	174万円
貯金取崩し (基金繰入金)	3万円
ローン借入 (市債)	59万円
前年度繰越金 (繰越金)	23万円
収入合計	509万円

※ 1万円 = 1億円 (1/10,000)

※ 収支の差額は翌年度へ繰越

支出 (年額)	
食費 (人件費)	59万円
水道光熱費 (物件費)	57万円
教育費・医療費 (扶助費)	97万円
子どもへの仕送り、自治会費など (他会計繰入金、補助金など)	133万円
家や車の購入 (普通建設事業費など)	59万円
ローン返済 (市債償還)	42万円
貯金 (基金積立)	30万円
支出合計	477万円

決算報告

令和3年度の一般会計、特別会計、企業会計の決算がまとまり、市議会9月定例会で認定されましたのでお知らせします。

【問】 財政課 (本庁4階) ☎ 24 - 2198

令和3年度の一般会計の決算額は、歳入総額が前年度比9.0%減の509億7,731万円、歳出総額は前年度比11.2%減の476億7,317万7千円となり、歳入歳出差引額は33億413万3千円、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は30億8,308万2千円の黒字決算となりました。

なお、財政状況については、財政健全化法に基づく早期健全化基準を下回っており、引き続き健全性を維持しています。詳しくは、左ページ「財政健全化指標などの状況」をご覧ください。



■一般会計決算 ()内は構成比

